

# EPIPHANY TIMES

No.166 SEP.2024 / SINCE MAY.2010

## 「人生の秋に」

キリスト者が人生の終わりに、自分史を書くとしたら、自分がどのようにキリストを信じたか、書いても、信仰者の証しにはなりません。キリスト者の自分史は、この「私」の人生にキリストがどのように働いて下さったか、を祈りのうちに振り返ること。それが信仰者の自分史なのです。

自分がどのようにキリストを信じたか、ということであれば、多分、自分に都合のいいことだけの自分史になるでしょう。「私」のこの人生の全ての出来事に、どのようにキリストが働いていたか、このことに思いを巡らすことができれば、自ずと、嬉しかった時、悲しかった時、すべての人生の場面にキリストの存在を見出すことができ、喜びと懺悔の祈りのうちに、神の愛を証しせざるを得なくなる、キリスト者の自分史とはそういうものです。

ある年齢を重ねた御婦人が「晩年に教会があって本当によかったです」という～信仰告白～を語られたことがありました。「私」の人生の旅路の終わりに、祈りの場としての教会があるのは、まさに最高の恵み。人生の始めから、終わりまで、キリストが共に歩いて下さっていたという祝福を、祈りのうちに感謝できることこそ、人生の秋の、最上のわざといっていいいでしょう。



神は最後に、いちばんよい仕事を残して下さる、それは祈りだ  
手は何もできない、けれども、最後まで合掌できる  
愛するすべての人のうえに、神の恵みを求めるために  
そして、すべてをなし終えたら、臨終の床に神の声をきくだろう  
「来よ、わが友よ、われ、なんじを見捨てじ」と

ヘルマン・ホイヴェルス神父 「人生の秋に～最上のわざ～」より

姫路頭栄教会では、9月15日(日)は「敬老の日」をおぼえての主日礼拝です

司祭 マルコ 藤井 尚人



日本聖公会

姫路頭栄教会

〒671-1152 姫路市広畑区小松町4-36

URL <https://himeji-epiphany.org>

司祭携帯 090-2191-6958



## 第60回 神戸教区中高中生大会

8月13日(火)～15日(木)

この度は中高中生大会に参加させていただき、ありがとうございました。小4の時以来で、とてもわくわくして参加いたしました。今年は岡山県倉敷市の「倉敷市自然の家」というところで行われました。とても綺麗な施設で、ご飯もとても美味しかったです。

今年のテーマは「協思団結」でした。これは協力と団結で最高の思い出を作り、人と人との結びつきを大切にすることでした。BBQや球技大会などのプログラムで、それが実感出来ました。なかでも思い出深いのは、肝試しです。毎年レベルアップしているようで、コースも長く、またクオリティも高くとても怖かったです。意外に小さい子が怖がってないのには驚きました(笑) 学年別ディスカッションで「教会に行っているか」という問いに対して、ほとんどの子が「中学生になってから行ってない」

「イベントの時だけ」と答えていました。教会の現状を知る良い機会となりました。

私はこの中高中生大会で、これからも仲良くしたいと思う最高の友達と沢山出会うことができました。ですが、一年に一回しか会えない友達なので今から来年が凄く待ち遠しいです。神様が与えてくれたこの機会に感謝し、祈りを忘れず歩んでいきたいと思えます。

高1 アンジェラ 蔭山 凜

## 【9月の予定】

☆9月の日曜学校

9月15日(日) パフェ作り

詳しくはWebで!

<https://himeji-epiphany.org/page-50/>



☆9月のガール・スカウト

9月14日(土)壁新聞作り (@幼稚園)

9月29日(日) バッジブック (@幼稚園)

☆9月の聖書研究会

9月3日:「自分を取り戻す+マタイ16章」

9月10日:「自分を信じる+マルコ12章」

9月17日:「報いはきつとある+マタイ25章」

9月24日「かっこつけなくていいMK15章」

『あなたはあなたのままでいい～とっておきの聖書の言葉～(片柳弘史神父)』をテキストに、聖書のみ言葉を黙想し、別ち合っています。初めての方でもお気軽に、ご参加下さい。時間は10時30分から約1時間の予定、会場はエピファニーホール(当教会入ってすぐの部屋)です。

☆ 9月14日(日) 藤井司祭は神戸伝道区説教者交換で洲本真光教会を訪問されます。

☆「聖ミカエル及び 諸天使の日」

9月29日(日)の主日礼拝は大天使ミカエルについてメッセージです。天使の存在を知ることなしに、悪魔の正体を見極めることはできません。ミカエルファミリーの守護天使としての聖ミカエルの御守りを御一緒にお祈りいたしましょう。

## シリーズ 賢者の夢

エピソード#1 『墓参』

～敬老の日に合わせて当教会の歴史を知る方々に聞く～

お盆といえばお墓参り。

8月16日(金)、私は息子と孫と3人で名古屋墓苑に行きました。両親のお墓は京都にあるので本当は同8月16日に行くことに決めていましたが、暑さと体力のこともあり今年の実行できませんでした。

16日にと決めているのは、京都五山の送り火を見ながら亡くなった家族の霊を見送るためです。

姫路顕栄教会では諸聖徒日(11月3日)に名古屋霊園にみんなで墓参にまいります。洋の東西を問わず死者の霊を弔い、祈りを捧げるのは同じですね。

セシリア 渋谷 久代

## 【編集後記】

ミカエル 渋谷 健

聖書を読んでいますと、神さまの恵みを「学ぶ」か「心から受け入れる」かを問われているなど感じる場合があります。

福音書の放蕩息子のように自分を飾らず神様の前に素直でありたいものです。また、8/25の礼拝の藤岡さんの奨励にあるように「子供のように神の国を受け入れる(マルコ10章)」ことが求められています。

月報担当 ミカエル 渋谷 健

発行責任者: 牧師 司祭 マルコ 藤井 尚人